

会津ぐるっと桜めぐり

会津地方は愛知県や千葉県と同じ面積を誇り、土地の高低差もあるため、約1ヶ月もの間、会津地方のどこかで桜を楽しむことができます。

今回は、会津若松市内から喜多方市の桜をご紹介します。

鶴ヶ城



昨年は、4月11日に満開を迎えた鶴ヶ城の桜。今年は4月16日に開花し22日に満開をむかえました。好天に恵まれ青空の下、多くの観光客や地元の人で賑わっていました。

(撮影日：2017年4月23日)



石部桜

田んぼの中に佇む、会津若松市を代表する桜の一つ「石部桜」。

今年もたくさんの可憐な花びらをつけ満開を迎えました。

樹齢約650年と老木ではありますが、新たに若い枝を伸ばすその姿には生命力と美しさを感じました。会津の桜の重鎮といった貫禄です。

(撮影日：2017年4月20日)



鏡桜



喜多方市山都町沼ノ平地区の堤に、樹齢100年以上とされるオオヤマザクラの大木があります。

満開時に映し出される水面の桜からその名が付けました。オオヤマザクラの幹は根元から十数本に分かれ、池のほうへ大きく枝を広げています。その姿は水面に反射し一層美しさを増します。

この鏡桜は2017年度の福島県の観光パンフレットの表紙にも使用され人気スポットとなっています。

(撮影日：2017年4月25日)

▶沼ノ平 福寿草

沼ノ平地区は、100万株の福寿草の群生地として知られています。

4月初旬の雪解けの里山に、春を告げるふきのとうをはじめとする山菜とともに、福寿草が一齐に咲き始めます。黄色の可憐な花が春のそよ風になびく姿はほのぼのとした気持ちにさせてくれます。



▶沼ノ平 棚田の桜

約15年前に、地区の住民が休耕地の棚田にオオヤマザクラやシダレザクラなどを植樹したのが始まりです。福寿草が咲き誇る時期に合わせ、里山に桃源郷のような景色が広がります。



日中線記念自転車歩道のしだれ桜

日中線は、喜多方駅と熱塩駅間の11.6kmを結んでいた日本国有鉄道の鉄道路線でした。

1984年に廃線となった後は自転車歩行車道として整備され、3キロに渡って約1,000本のしだれ桜が植栽されました。歩道の両端から垂れ下がるしだれ桜のトンネルは圧巻です。

(撮影日：2017年4月25日)

